



正校

兵害償論

副

4250





兵害償ヒ、論

我輩ハ

先ツ此兵難ヲ三様ニ區別セサルヘカラス

第一 自國政府ノ命ニ出ル軍役

第二 敵ニ強取セラレタル軍需

第三 兵害分テ四トス

甲 自國政府ノ命ニ出テ、蒙リタル害

乙 自國政府ノ過誤ニ因テ蒙リタル害

丙 敵兵ノ爲メニ蒙リタル害

丁 内乱反ヒ地方ノ暴動ニ因テ蒙リタル害

第一 自國政府ノ命ニ出ル軍役

自國政府ノ命ニ出テ、國人ノ務ムル軍役ハ(第一)兵糧庫ニ送付

スル麵包日本ヲ穀以テ内、秣ノ類(第二)兵隊ノ進軍反ヒ宿陣ニ於テ

兵卒士官等ニ供スル食物(第三)馬牛車等、如キ運輸用ノモノ

五十一

兵部

四軍舍用ノ木材庖厨及ヒ防寒用ノ薪橋梁等建築ノ諸器具(第五)人夫建物地面騎兵及ヒ大砲隊等所ノ馬匹(第六)諸種ノ器具但シ悉ク其名目ヲ爰ニ掲ケバ煩ニ堪ハサルヲ以テ左ニ二三ノ例ヲ掲示ス 砲臺 被服 馬具 築城用具 器具大工 鋸 鋸 鋸 鋸野陣用具 馬鞋 藥品 繃帶 被傷人ノ臨時需用品例酒ハ葡萄人身ノ兵役及ヒ軍稅ト稱シ戰爭間ニ賦課スル所ノ稅ニ賦課スル所ノ稅ニ付テノ論ハ末段ニ於テ別ニ陳說スル所アラントスルヲ以テ今爰ニ載セス

普魯西ニ於テ一般ノ慣習トナリタルガ如キ國法ニ據レバ左ニ掲ケル條件ニ於テハ決シテ大藏省ヨリ償金ヲ給セス

(第一) 進軍線路軍隊屯集所ノ別ナク陸軍士官兵卒及ヒ軍馬ノ宿所

(第二) 必用ナル嚮導使丁挽車用牛馬其他運送ノ使役(武庫ノ地ヲ轉スルニ使役スルニアラザレバ)道路橋梁堡塔修理等ノ使役人夫或ハ器具運送人夫

(第三) 武庫病院番兵屯所工場軍用荷物貯藏ニ充テタル現場差向トナリザル人家或ハ空屋等及ヒ陣營兵隊操練大砲車ノ置場ニ要スル地面(但シ播種ノ時季ニ至ルマデノ間)

(第四) (第二)ニ載セタル軍役ノ為メニ政府ヨリ償金ヲ拂フハ人夫トモ其所住地ヲ離ルル下四里(日耳曼里)以上ニ及フキニ限レリ而シテ工人ノ手間一ヶ月ノ中ニ一村人口ノ十分一以上ニ上リタル場合及ヒ運送ニ牛馬ヲ使役スル日數一ヶ月間ニ該地ニ使役シ奉ル牛馬ノ二倍以上ニ及ベル場合ニ於ケルモ尚ホ其償金ハ平日ノ價格ニ據リテ之ヲ算ス

平時ニ在リテハ士卒軍人ノ止宿ニ家屋ヲ供スルハ全ク該家ノ義務ニシテ即チ家稅ヲ納ムルノ割合ニヨリシモノナリ然レモ政令ニ於テハ其制改メリテ家屋借主ト貸主トノ間ニ平等ニ割付ルヲ例トス例ヘバ家主ハ自己所用ノ建坪ノ割合ニヨリ又借主ハ其借家ノ建坪ノ割合ニヨリテスルガ如シ食品ノ供給ニ於ケルモ亦之レト其主義ヲ同クシ且ツ是點ニ在リテハ最モ其義務ヲ平等均一ニセンテ緊要トス何トナレバ前者ニ在テハ單ニ不便利ニ係ルノミナレモ後者ニ在テハ金及ビ物需ノ兩方ノ割付ルヲアレバナリ勿論愛國ノ義士ノ如キハ自國人民ノ兵役ニ在ルモノ、為メニハ其及ブ支ケノカラ盡クテ以テ本意トナスト雖モ政府ヨリ斯ル費用ヲ償還スルハ亦至當公平ニ出テガルヘカラス○普魯西ニ於テハ兵卒一人ノ止宿料ハ一日ニ付キ五シルベルゴロスデシ（九ノ成十五）ヲ償フ然レモ陣營ヨリ

麵包ノ供給アルキハ三シルベルゴロスデシ（九ノ成十五）ニ付キ五シルベルゴロスデシ（九ノ成十五）ヲ償フ然レモ陣營ヨリ三當ヲ償フノミ然リト雖モ進軍ノ線路ニ於テ朝飯或ハ晚餐一回ノミヲ供セルガ如キハ一日分食料ノ一半ヲ給ス而シテ其供スル所ノ食物ハ家主ノ食スル所ト同一ナルヘシ然レモ兵士中其父母ニ付キ不満ヲ抱キ家主ト争フ場合ニ於テハ其兵士ガ常ニ陣營ヨリ給セラル、所ノ物ト同一ナルヲ給スヘシ○又牛馬ヲ使役ニ供スルニ至テハ田地所有者ヨリ其農業ノ大小ニ割合ヒ定數ヲ出サシムルノ慣法ナリ而シテ嘗テ此規則ノ甚ク酷ニ且ツ不當ニ適用サレタルトアリ日耳曼ノ兵制ニ於テハ總テ人民所有ノ馬匹ハ政府ノ需要ニ隨ヒ非常ノ招募ニ應ジ無償ニテ軍役ニ供セサルヲ得ス但シ日耳曼ニ於テハ此法アルカ為メ各邑村ノ馬匹ヲ軍籍ニ入ル、猶ホ人ノ於ケルカ如シ而シテ平治ノ日ニ至リ戰爭中ニ夫亡シタル馬匹ハ政府ヨリ之ヲ償ヒ存在セ

モノハ之ヲ本主ニ返還シ而シ其不具トナリタルモノハ之ヲ
賣シ以テ其本價ヲ補償ス人民ヨリ糧餉貯蓄所ニ供スルノ物品
ヲ出サシメタルハ之ヲ縣郡村ニ配賦ス普魯西於テハ始メ之
ヲ内務卿ノ見計ニ因テ諸縣ニ配當シ而シ各縣令ハ之ヲ次キ
其撰定スル所ノ季負ノ助力ニヨリテ其議長更ニ之ヲ各郡ニ配
當ス而シ又之ヲ各村ニ配當スルハラントラス(即令各郡ノ代議
士中ヨリ撰舉シタル委員ノ助力ヲ得テ之ヲ司トル)是等ノ供
給品ノ為メニ其償金ヲ積モルノ法ハ前十年間ノ平均相
以テ計算ス(最高價及ヒ最廉價ノ年ヲ除ク)

若シ地所或ハ建家ノ私有物ヲ軍事ノ為メニ使用スルニ於テハ
其所有主ハ若干ノ償金ヲ受ルノ制規アリ(但シ堡城等ノ周圍線
ニ在ルモノハ此外ニ特例アリ)軍役ニ使用シタル職工人夫ノ賃
錢ハ其地ノ相庭ヲ以テ之ヲ拂ハサルヘカラス然レモ全ク其地

方ノ利益ノ為メニナシタル軍工列入ハ敵ノ侵襲ヲ防禦セシメ
メニ堡塔ヲ築造セルカ如キ特外ノ場合ニ在テハ地方ノ資金ヲ
以テ之ヲ償フヲ至當トス

右ニ記載セル總テノ費金ハ何等ノモノヲ以テ拂フカト問ハシ
成輩ハ一般ニ採用サレタル所ノモノヲ考フルニ大概現金又
ハ証書(レコニゲンス)ヲ發行シ以テ之ヲ拂ヘリ現金ニテナシ拂
ヒ方(就中人民一般ニ係ルモノニ非ス)テ一人一個ノ實際ノ費
用ニ出ルモノ、如キ政府ノ猶豫ナク拂ハサルヲ得サルモノ、
政府ニ於テ差問ナキハ毎ニ之ヲ拂ハサルヲ得ス例ハ被服
馬具、戰場諸用品、及ヒ藥品、繃帶、供給ノ如キハ普魯西ニ於テハ陸
軍會計官ヨリ供給時ノ該地ノ平均相庭ヲ以テ拂ヘリ糧食庫ニ
供給セル物品及ヒ兵士宿料等ノ如キ全國ニ賦課スルニ性質ノ
モノ、代價拂方ノ為メニハ政府ヨリインテレスト、レコニゲ

ス(即チ利付假債券)ヲ発行ス(即チ供給セル米塩或ハ兵士宿舎
証券ヲ以テ) ○政府ハ此償金ヲ拂_レニ之ヲ各縣ニ賦課_シ而_{シテ}各
郡村ヨリ又之ヲ各人民ニ賦課ス(官費西ニ於テハ之ヲ公平ニ賦
課スルハ其郡村代該人ノ任ナリ而_{シテ}其決議スル所ニ對_シ之ヲ
控訴スルヲ許サス) ○償金ヲ拂渡スニハ相當ノ日限ヲ設ケ人民
ヨリ償金請求申出ノ爲メ時日ノ猶豫ヲ與ヘ而_{シテ}該日限ヲ過_シ
テ申出テタルハ終テ受理セサルモノトス

第二 敵ニ強取セラレタル軍需

外敵一國ニ侵入シ其人民ヨリ軍需ヲ強取スル権理ノ有無ト之
レニ因テ起ル所ノ損害ヲ内國政府(侵入セラレタル)ニ於テ後日其人民
ニ償フベキ義務ノ有無トニ付キ大ニ政事家ノ論議スル所トナ
リ或人ノ論ニハ戰ハ猶ホ訴訟ノ裁判ニ於ケル如ク平定ノ後ハ
其原被セ何レカニテ其裁判入費ヲ拂ハサルベカラスト然リト

雖_モ此論_ハ其當ヲ得タルモノニアラス何トアレハ外敵ノ爲メ
ニ強取セラレタル軍需ヲ政府ニ償フヘキ_レ法律上_ニ其是理
ナク且ツ政略上ニ於テモ之ヲ要スル所ニ非ルハ其理ノ最モ明
亮ナルモノナレハナリ

今爰ニ政府ノ償フヘキ理ナキ所以ヲ明_ニ論_述セン政府ノ自
ラ好テ其人民ニ損害ヲ蒙_ルラシメタルニ非ス却テ之_レ爲メ
ニ力ヲ盡シテ保護シタル程ナレバ決シテ政府ノ務ヲ怠漫セ_シ
ヨリ起リタル損害ニモ非ス然_レハ政府ニ於テハ好テ之ヲ蒙_ル
シメタルニモ非ス又怠漫ヨリ起ラシメタルニモ非ス是ヲ以テ
之ヲ觀レハ政府ニ於テ其損害ヲ償フベキ義務ナキ_レ判然_{タリ}
蓋シ政府ヨリ此損害ノ因テ来_ル所_ノ論_スレバ何處マデモ天災
ト看做サバ_ルヘカラス而_{シテ}又罹災ノ人民ニ於テモ亦之ヲ不幸
災_ト致_ス所_ト覺悟スルヨリ外アルベカラス是レ政府ニ於

人民ノ外敵ノ爲ニ強取セラレタル損害ヲ償フヘカラサル
以テ論説ニシテ亦大ニ法理ニ適入リト云フヘシ更ニ政界上ニ
於テモ之ヲ償フヲ要セサル所以ニ論及セン政府若シ其人民ノ
外敵ノ爲ニ強取セラレタル損害ヲ償フヘキ義務ヲ擔
當ストセバ其狀況果シテ如何ゾヤ政府ノ困難ハ實ニ言フニカ
ラスシテ償金ヲ請求スルノ員額ハ山岳ノ大ヲナシ獨リ其被害
ノ真否ヲ検査シ能ハサルニ至ルノミナラス外敵ノ占據スル所
トナレル一地方ヲ以テ全国ノ精血ヲ吸収スルノ好手既ニ外敵
ニ與フルカ如キニ至ルヤ必セリ何トナレバ若シ外敵ヲシテ一
度政府ノ賠償ヲナスコトヲ知ラシメハ獨リ占據スル所ノ地方人
民ノ力ニ堪フル丈ケノ軍需ヲ強取スルノミナラス全国ノ力ヲ
擧テ總ニ償ヒ能フ丈ケノモノ吸収スルニ至ルベケレバナリ加
之談地人民後日賠償ヲ受クルヲ知ルヲ以テ後ガ手ヲ拱シテ

敵兵ノ要求ニ惟レ從ヒ其欲スル所ヲ逞フセシメ平常財産掠奪
ノ厄ニ遭遇セル時ニ於ケルカ如ク奮勇擲命以テ防禦ヲサス
之レカ爲メニ國家ノ抗抵力ヲ減殺スルニ至ラン是レ政界上ヨ
リ償金ヲ給スルヲ利アラストスル所以ノ根理ナリ
右ノ所論ニ因テ考フレハ政府ニ於テハ法律上ニテモ政略上ニ
テモ外敵ノ爲メニ強取セラレタル損害ヲ償フヘキ義務ニシ然
レモ憐愍上ヨリ惻察スル時ハ之ヲ給スベキ情^狀ニ非ス去レ
氏是レトテモ其公益如何ニ着目シテ之ヲ給スルト否トシテ
ナルヘカラス若シ被害者ノ損害ヲ被ムリシハ全ク公益ノ爲メ
ニセシニ因ルノ事實アラハ例ヘバ或ル城下ノ人民城兵ヲ助ケ
強禦力防以テ敵兵ニ當リシカ爲メ敵兵之ヲ怒リ其人民ノ財産
ヲ掠奪シテ怨恨ヲ報スル場合ニ於ケル如シ人民ニ於テ相當ノ
賠償ヲ請求スルノ理アリ然リト雖モ新^時ニ於テモ尚ホ確

タル権理アルニ非スレテ其請求ヲ受理スルト否トハ唯政府
見込ニアルノミナリ故ニ斯ル場合ニ於ケル公益ノ要點ハ被害
者ノ敵ニ對シテ爲シタル抗抵力ノ強弱ニ因テ償金ノ當否ヲ論
シ而シテ怯懦卑屈ノモノハ大藏省ヨリ毫セ償金ヲ給スヘクモノ
ニ非ルテラ明ニ人民ニ知ラシムルニ在リ是故ニ人民ノ外敵ニ
軍需ヲ供スル其主意全ク私有物ノ保護ヲ求ルル爲メニスル
或ハ其身体ノ愛護ヲ買ハンガ爲メニスルガ如キハ決シテ償
金ヲ給スヘカラス人民自ラ其損害ヲ負擔スヘシ是ニ由テ之ヲ
觀レハ償金ヲ典フルハ全ク奮勇抗抵ノ賞ニシテ償金ヲ給セザ
ルハ怯懦卑屈ノ罰ナリ如此キ法ヲ以テ損害ヲ償フハ必ス國
家ノ爲メニハ大ニ抗抵ノ力ヲ益シ外敵ノ爲メニハ大ニ不利ト
ナラシムル此良法ヲ以テ徒ニ被害者ニ償金ヲ給スルハ政府ノ
義務ナリトスルノ論ニ比スレハ其得失豈啻天淵ノミナランヤ

是等ノ償金ハ必ス毎ニ大政府ニテ辨フヲ要セス之ヲ各縣郡村
ニ分擔セシムルテ得ベシ
近世ノ戰爭ニ於テハ外敵^{ガ其}軍需ヲ強取スルノ慣習之ヲ一個人
ツヨヨリセスレテ一縣或ハ一郡一村ニ賦課シ其取立方ニ至テ
ハ之ヲ地方官ニ委託セリ而シテ地方官ノ之ヲ擔當周旋スルモノ
ハ蓋シ其損害該地ノ人民一般ニ平均レテ成ルヘキ文ケ被害ヲ
樂分カ免レシメンカ爲メ租稅收入ノ法ニ據リ之ヲ公平ニ取立
テント欲スレバナリ然ルニ如此キノ賦課方ヲ以テシテ若シ或
人他人ヨリ重ク賦課セラルニテアルハ之ヲ償フニハ其村ノ
公有金ヲ以テシ又若シ或村他村ヨリ重ク賦課セラルニテアル
ハ其即メ公有金ヲ以テシ又若シ或郡格外ニ重ク賦課セラル
ハ其即メ公金ヲ以テシ又若シ或縣格外ニ重ク賦課
セラルニテアルハ大長府ノ大藏省ヨリ之ヲ償フハ必ス

若し戦争間或ハ鎮靜ニ至テ外敵ニ強取セラレタル軍需ノ償金
ヲ外敵ヨリ内國政府ニ於テ收取スルヲアラハ政府ハ之ヲ被害
ノ人民ニ分配スルノ義務アリトス然レモ平常アルガ如ク敵
リ分毫モ賠償ヲササス或ハ僅ニ損害ノ一小部分ヲ償フノミ
場合ニ在テ政府ヨリ被害者ニ償金ヲ給スルハ是レ全ク恩賜
ニ出ルナリ又兵害ニ罹リ貧困ニ陥リタル一縣ヲ徙前ノ状況ニ
恢復センカノニ免稅スルモ亦是レト其主義ヲ同ナス
我軍ハ第三條即チ兵難ノ条ヲ論スルノ段ニ達セリ
内國政府ノ軍兵ノ為メニ起ル兵難ヲ分テニトス**甲**ハ軍隊ノ直
令ニ因テ起ル損害**乙**ハ過誤ヨリ生スル損害或ハ一個人ノ害ニ
ヨリ生スル損害ナリ
法律上ニ於テ政府ノ損害ヲ賠償セザルベカラサル義務ヲ擔ホ

スルハ**甲**條ニ限レリ**乙**條ノ場合ニ於ケルガ如キハ之ヲ償フモ
償ハザルモ其自由ニ在リ且ツ大藏省ノ斟酌ニ因テ之ヲ左右ス
ルヲ得ルモノナレバ斷シテ之ヲ法律上ニ於テ負擔スヘキ政府
ノ義務ト言フベカラザルモノアリ例ヘハ兵乱ノ慘害ヨリシテ
牛馬ノ疫流行シ牛馬之レカ為メニ斃死シ或ハ誤テ火藥庫ノ破
裂スルヲアリテ人民ノ私有物ヲ損傷シ或ハ潰走兵ノ人家ニ放
火シ若シクハ私有物ヲ強奪シタル等ノ如キハ必ス其價ヲ給ス
ベキ理アルニ非ス然レモ又政府ニ於テ必ス賠償セザルベカラ
サル數件アリ例ヘバ政府ノ官吏ヨリ人民ノ私有物ヲ陸軍ノ占
有ニ屬セシメ而シテ之ヲ滅盡シ或ハ敵ヨリ軍需ヲ要求セリキニ
方リ政府ヨリ其地一般ノ人民ヲ保護センカ斷ラニ一時其地方
ノ住民中ニ付テ或ル數人ニ依頼シ之ヲ出サシムルキハ如キハ
必ス賠償セザルベカラス但シ普魯西ニ於テハ兵戦間擱置シ

生シタル損害償金請求訴訟の全ク受理スル且ツ法律上之ヲ請
求セラル得ヤルモノナリ
次條ニ於テ論スル所ハ如何ナル方法ヲ以テ政府ハ賠償ニ充ル
金額ヲ仕拂フベキヤノ問題ニ係レリ
政府ハ如此キ巨大ノ債ヲ負フニ因テ理財ノ道ヲ失フニ至ラス
ヤ又如此ク巨額ノ支出アルカ爲メニ全勝ヲ制スルニ要スル所
ノ努力ト戦畧ヲ逞フスルノ資本ヲ減殺スルニ至ラスヤト疑懼
スルモノアラシク然レモ之ヲ救フノ術甚タ難キニアラザルナリ
今斯ル巨大ノ重任ヲ僅々一二ノ郡村ニ負擔セシメバ其重大安
ニ其力ニ堪ヘサルモ若シ之ヲ国内一般人民ニ平分シ衆力ヲ合
シテ一ト爲シ負擔セシメハ容易ニ之ヲ負擔シ得ヘシ故ニ戦費
ヲ速且ツ十分ニ充倫セシト欲セハ戦端開ケルノ後須臾モ猶豫
スルトナク全国一般ニ新税ヲ課スルヲ要トス(但シ収入税或ハ

財産税ニ課スルヲ最モ好シトス)而シテ曾テ軍需ノ代價ニ拂ヒシ
証券ヲ其券面ノ價格ヲ以テ新税ノ収納ニ充ルヲ許スベシ(即チ
一村或ハ一人ニ軍需ノ代價トシテ典ヘタル証券)右ノ法ヲ以テ
スルキハ該証券自ラ通用上其價格ヲ落サス券面通りニ交換ノ
價格ヲ保テ且ツ二様ノ用ニ供スルノ便アリ(一ハ軍費ノ拂ヒ一
ハ人民ノ納税)
政府ヨリ軍需ノ代價ヲ拂フハ公ヤノ負擔ヲ公平ニ分任セシメ
シカ爲メニスルニシテ決シテ之ヲ以テ一人ニ利益ヲ典ヘント
スルニアラザレバ其代價ハ必ス戦時ノ相庭ヲ以テ定ムベキノ
理ナク全ク平時数年間ノ平均相庭ヲ以テ之ヲ拂フベキナリト
ス
右ニ余ガ略述シタル所ノ日耳曼政事家ノ論說ト法律ノ音義ト
ハ就中外叙トノ戦争ニ付テ通用スル所ノモノナリ然リ而シテ又

内乱ノ害ニ付テハ普魯西ノ法律中ニ就テ左ニ掲クル所ノ千八百五十年三月十一日議定ノ法律ヲ搜索シ得タリ

若シ或ル一地方ニ乱民嘯集シ良民或ハ其暴害ニ罹リ或ハ之ヲ防禦センカ為メニ法律上ノ處分ヲ施サルニ因リ所有物若シクハ身体ニ傷害ヲ蒙リシキハ該地自ラ其損害ヲ償フベキ責ニ任ス然レモ其損害他所ヨリ該地ノ境内ニ闖入セシ乱民ヨリ起ルニシテ實ニ該地ノ力之ヲ防禦スルニ足ラザルヲ明瞭ナルキハ之ヲ償フハ該地ノ責任ニアラスシテ闖入セシ乱民ノ居住地即チ乱民ヲ嘯集セシメシ地方ノ責任ナルニ阻シ該地方ニ於テモ亦實ニ之ヲ禁止スルノ力ニ乏シキ明証アルニ於テハ此限ニアラス而シテ該地方ノ良民ハ實ニ法律上損害ヲ償フベキ義務アルモノ即チ暴乱ヲ起シタルモノ或ハ其黨典ヲシテ之ヲ償ハシムルヲ得ベシ

日耳曼聯邦内ニテモ亦如此キ旨意ノ法律アリ

千八百七十七年四月四日
バロニアレキカンドルニシテホルト 述

大
雅
省

